

平成29年度 学校目標設定

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育課程編成によって幅広い履修と多様な選択機会を提供し、生徒の学習希望に応えるとともに、知識技能を活用し探究する学習の充実を図り特色ある学校づくりを推進する。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲を向上させ、各教科における基礎的・基本的な学力を高めるとともに、思考力・判断力・表現力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度や意欲を養う。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学入学者選抜改革を見据え、主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)の視点による学びの確立に向け、教員の授業改善と指導力向上を組織的、計画的に進める。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の家庭学習習慣を確立させるとともに、学力向上へ向けた組織的な取組を行う。 部活動の終了時間および下校時間の厳守の徹底を図り、学習時間を確保する。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部機関が実施する授業改善のための研修会や他校で実施される研究授業等に参加し、授業改善に資する。 教員相互の授業見学について2人以上の見学を行い、シート等を用いて積極的に意見交換等が行える環境を整える。 「学力向上職員研修」の研究授業を外部への発信も含めより充実した内容となるように工夫していく。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 全校集会等で生徒に対し学習に対する意識を高める働きかけを行う。また、小テスト、週末課題等の組織的な実施による家庭学習の定着を図る。 補習対象生徒の保護者、担任、部活動顧問の連絡を徹底する。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の公開や2人以上の授業見学を組織的に実施できたか。 研究授業の適切なテーマ設定および教科会による十分な学習活動の検討・振り返りができたか。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学期の成績、定期テスト等の成績から学習習慣と学力の定着がみられたか。 保護者、担任、顧問の間で連携が図られたか。
2	生徒指導・支援	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の規範意識を醸成させる指導体制と個に応じた相談体制を充実させ、安心して生活できるよう支援する。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動や委員会活動を通じて、個々の生徒がその興味関心を深め、より主体的で豊かな学校生活を送るよう支援する。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員間の意思疎通を図りながら、生徒一人ひとりの困り感やニーズを把握し、課題の解決に当たる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動全般を生徒自らが興味関心を深め、自主的・主体的に取り組めるように支援する。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> クラス掲示資料、職員会議等で生徒指導の内容やルールを周知し、共通認識の基で指導を進める。 情報交換会議やケース会議を開催し、職員が情報共有しながら個々の生徒の事情に応じた生徒指導を行う。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育祭・文化祭・球技大会等の生徒会行事を通して、生徒組織を核として生徒が自ら進んで自主的・主体的に取り組みよう指導していく。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校全体の一貫した生徒指導体制が確立できたか。 情報交換会議やケース会議が機能し課題解決につながったか。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸活動を支援することにより生徒の自主性・主体性は十分に伸張できたか。

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力の定着と問題解決能力の向上を図り、生徒一人ひとりが自らの意志と責任でよりよい選択をするための力を身につけることを目標とする。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 「キャリアデザインプログラム」により、生徒一人ひとりが自らの意志と責任でよりよいキャリアデザインをするための力を身につける。 進路に関する的確な情報提供により、生徒一人ひとりが自らの意志と責任でよりよい進路を選択するための力を身につける。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 「キャリアデザインプログラム」に基づき、生徒個々の主体的な活動を、学年に応じて、1学年「将来を探る」、2学年「分野を選ぶ」、3学年「進路を決める」ことをテーマに、段階的に展開していく。 進路に関する的確な情報をキャリア通信等で提供し、パソコンやインターネットを活用した進路指導や面談を実施する。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 「キャリアデザインプログラム」に基づき、ガイダンス、模擬授業や課題研究を、各学年で計画的に実施するとともに、模擬試験等の結果の振り返りを面談で有効に活用することで、生徒のキャリアデザイン力が高まったか。 キャリア通信等による的確な情報の提供や、パソコンソフトやインターネットを活用した進路指導や面談を通して、明確な進路目標を持つ生徒が増えたか。
4	地域等との協働	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校で学習した生徒の能力や教員の様々な知識や能力を積極的に地域に還元することで、開かれた学校づくりを展開する。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒に地域貢献活動の意義を理解させ、学年・部活動単位で活動を企画実施できるようにする。 地域の方々のニーズが高い公開講座を企画運営する。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域貢献デーを11月(雨天の場合12月)に1年生全員で実施する。また7月・3月に2・3年生の代表が地域貢献活動を行う。 部活動単位の地域貢献活動を引き続き計画・実施する。 公開講座「スコレーの楽しみ」(新シリーズ)の企画・実施をする。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒に地域貢献活動の意義を周知・理解させた上で、各学年や部活動で活動を展開することができたか。 住民満足度の高い公開講座を企画・実施できたか。
5	学校管理 学校運営	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故・不祥事の防止を徹底するとともに、教職員の実践的指導力を一層向上させる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の防災意識を高め、安全対策を一層強化する。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 引越し時の文書管理を含め、校内の業務における事故・不祥事防止に組織的に取り組み、事故・不祥事を未然に防止する。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練を実施し、生徒の学校生活中における防災意識の向上を図るとともに、安全行動の実践を図る。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 月1回以上の事故防止会議やグループ会議、学年会等の様々な機会を通し、事故・不祥事の防止に対する職員の意識向上を高める。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練を2回以上行い、さらに地域と連携した災害図上訓練(DIG)を実施し、生徒の防災意識の涵養を図る。 授業時間以外(学校行事・部活動など)の活動において避難経路の周知徹底を図り、防災意識の向上を図る。 新校舎に移転する際、避難経路の変更を的確に素早く、生徒に周知を図る。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故・不祥事ゼロを実現ができたか。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練を2回以上行い、さらに災害図上訓練(DIG)を実施し、生徒の防災意識が高まったか。 授業時間以外の時間帯に1回以上防災訓練を実施し、生徒の防災意識が高まったか。 新校舎移転時の的確に素早く、避難経路をクラスに掲示し、生徒に周知できたか。